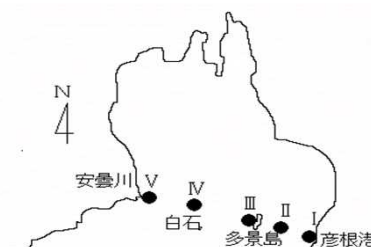


琵琶湖定点定期観測結果速報(令和4年5月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご留意下さい。

調査年月日 令和4年5月16日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場地先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 … 5地点の平均値

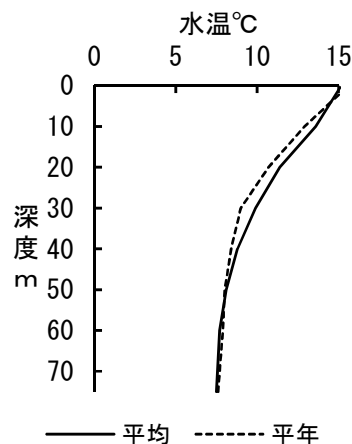
平年値 … 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値

DO(溶存酸素濃度)は2012年～2021年(平成24年～令和3年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 5月平均値 4.9m 平年値 5.2m

2. 湖水温 (°C)

深度(m)	5月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	15.1	15.5	-0.4
10	13.6	12.9	+0.7
20	11.4	10.7	+0.7
30	9.9	9.0	+0.9
40	8.8	8.4	+0.4
50	8.1	8.0	+0.1
60	7.7	7.9	-0.2
75	7.5	7.6	-0.1



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
4月下旬	14.7	12.7	+2.0
5月上旬	14.9	14.3	+0.6
5月中旬	16.2	15.5	+0.7

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	5月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0~10	53.4	13.8	+39.6
10~20	8.5	4.7	+3.8
20~40	2.2	1.7	+0.5
40~75	0.4	0.7	-0.3

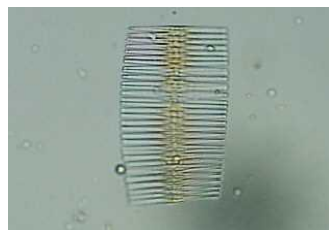
(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

○プランクトンネットNXX14による採集(植物:未固定 動物:5%中性ホルマリン固定)

植物プランクトンについては、全ての地点で*Fragilaria crotonensis*(オビケイソウ:珪藻)が細胞数と量的な面と両面で最も多く認められた。

動物プランクトンについては、全ての地点で*Epistylis sp.*(エピステイリス属:繊毛虫)が個体数密度で最も多く確認された。



Fragilaria crotonensis



Epistylis sp.

6. DO (溶存酸素濃度 : mg/L)

深度 (m)	5月平均値		平年値		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	10.8	111.2	11.1	114.3	-0.3	(-3.1)
10	10.5	103.6	11.2	109.4	-0.7	(-5.8)
20	10.5	98.4	10.7	99.1	-0.2	(-0.7)
30	10.4	94.5	10.5	94.4	-0.1	(+0.1)
75	9.3	80.0	9.2	79.9	0.1	(+0.1)